

# 大台警察署協議会議事録

令和5年度第2回大台警察署協議会	
日 場	令和5年10月13日（金）午後2時～午後3時30分 大台警察署講堂
出 席 者	<p>1 警察署協議会委員 5名 小倉桂吾委員、久保香里委員、西村郁子委員、 藤原徳久委員、村田友章委員</p> <p>2 警察署 5名 署長、副署長、生活安全刑事課長、 地域交通課長、警備係長</p>
傍聴者数	なし
公開・非公開の別	公開
<b>議 事 概 要</b>	
<p>1 警察署長挨拶 「警察署協議会委員の皆様には、日々の警察活動に対する様々な御意見をいただきたい。」旨挨拶した。</p> <p>2 管内の治安概況等の説明（警察署長）</p> <p>(1) 犯罪発生状況及び検挙状況</p> <p>(2) 特殊詐欺対策</p> <p>(3) 交通事故情勢</p> <p>(4) 山岳遭難の発生状況（地域交通課長）</p> <p>3 自動通話録音警告機の実演（生活安全刑事課長）</p> <p>4 大台警察署建替・移転の説明（副署長）</p> <p>5 協議内容</p>	<p>&lt;委員&gt; 全国において、特殊詐欺の被害が非常に多いと聞いている。最近では国際電話を使った手口もあり、多様化・巧妙化しているが、警察署ではどのような対策をしているのか。</p> <p>【生活安全刑事課長】 近年、国際電話番号による特殊詐欺が急増している。そのため、国際電話番号が表示された場合には、「電話には出ない」、「かけ直さない」と広報している。今後も継続して地域住民の被害防止意識を高める広報に努めていく。</p> <p>&lt;委員&gt; 実際に自動通話録音警告機を体験して、通話の前にアナウンスが流れるのは、被害防止に効果的であると感じた。</p> <p>【生活安全刑事課長】 特殊詐欺の検挙は当然のことであるが、検挙だけではなく、被害を未然に防止するため、各種イベントを通じた講話やチラシを配布するなど、広報啓発を積極的に実施している。</p> <p>このほか、予兆電話を認知した際には、大台・大紀両町の防災無線を活用した注意喚起を行っているほか、被害の未然防止に貢献した個人や団体に対し、感謝状を贈呈するなど、あらゆる機会を通じて地域住民の被害防止意識の向上を目的とした広報啓発に努めている。</p> <p>&lt;委員&gt; 大台警察署管内において特殊詐欺の被害がないことは素晴らしいことである。被害を防止するための広報啓発は重要であり、いかに地域住民に被害防止意識を広めるかが重要になってくる。通りすがりの人にも一目で分かるような広報啓発活動を行うべきではないか。</p> <p>【生活安全刑事課長】 イベントを開催する際には、会場周辺にのぼり旗や横断幕を設置するなど、関心を引く効果的な方法について</p>

<p>検討していく。</p> <p>&lt;委員&gt; 毎朝、パトカーで通学時の子供の見守り活動や警戒活動を行ってくれていることで、警察官の姿を見た車が減速してくれるので、周囲から見ていると非常に頼もしく、有り難く感じている。</p> <p>【署長】 今後、年末に向けて、警察は多種多様な活動を行うこととなるが、今後も、見守り活動や警戒活動を地道に実施していく。</p>	
備 考	報道機関 1 社 1 名